

が記録されている。

コツヤエンマムシ *Atholus duodecimstriatus quatuordecimstriatus* (Gyllenhal, 1808) については、全国的に記録が認められる種であり、上記の福井県と京都府においても記録があるが、これまでに記録がない県として「茨城、滋賀、奈良、和歌山、山口」の5県があり、滋賀県も含まれている。今後、この種の分布確認とともに、滋賀県内の湖西・湖北域のデータを集積するなど、記録の集積を継続したい。

引用文献

- 福井県県民生活部自然保護課, 1998. エンマムシ科 Histeridae. pp. 119–121. 福井県昆虫目録 (第2版). 567 pp.
- 京都府企画環境部環境企画課, 2002. 京都府自然環境目録鞘翅 (コウチュウ) 目. 京都府文化環境部自然環境保全課 (オンライン). http://www.pref.kyoto.jp/kankyo_red/1214198141184.html
- 水野弘造, 2001. 水野弘造自力採集甲虫目録 (1951–2001). pp. 61–146. 関西甲虫談話会 (編), 水野弘造の20世紀甲虫誌. 146 pp.
- Ôhara, M., 1991. Redescription of the Japanese species of the genus *Holelepta* (Coleoptera, Histeridae), Part 1. Elytra, Tokyo, 19: 101–110.
- Ôhara, M., 1992. A revision of the genus *Merohister* from Japan (Coleoptera, Histeridae), Part. 1. Jpn. J. Ent., 60 (2): 377–389.
- Ôhara, M., 1993. A revision of the Japanese species of the genus

Atholus (Coleoptera, Histeridae), Part. 2. Elytra, Tokyo, 21: 135–150.

- Ôhara, M., 1994. A revision of the superfamily Histeroidea of Japan (Coleoptera). Insecta matsumura, new series, (51): 1–283.
- Ôhara, M., 1999. A revision of the superfamily Histeroidea of Japan (Coleoptera). Supplementum 1. Insecta matsumura, new series, (55): 75–132.
- 新保友之, 1991. 滋賀県の昆虫相 (II). pp. 1791–1845. 滋賀県自然誌. 滋賀県自然保護財団.
- 新保友之・保積隆夫, 1979. 滋賀県の昆虫相. pp. 801–889. 滋賀県の自然. 滋賀県自然保護財団.
- 初宿成彦, 1997. 琵琶湖岸の砂浜環境における甲虫相 — 海浜性甲虫の分布 —. 自然史研究, 2 (13): 181–194.
- 初宿成彦, 1999. 琵琶湖岸の海浜性甲虫. 昆虫と自然, 34 (9): 31–34.
- 八尋克郎・亀田佳代子・那須義次・村濱史郎, 2013. カワウの巣の昆虫相. 昆虫 (ニューシリーズ), 16 (1): 15–23.
- 八尋克郎・岸井 尚, 2009. 滋賀県のコメツキムシ類の記録. ねじればね, 125: 4–12.
- 山本雅則, 2002. 滋賀県で採集した食糞性コガネムシ類 (4). 鯉角通信, 5: 1–8.
- 山本雅則・小林裕和, 2013. 滋賀県で採集されたピロウドコガネ類の記録. 鯉角通信, (26): 47–51.
- 山本雅則・斎藤昌弘, 2013. 滋賀県で採集されたアカハネムシの記録. さやばねニューシリーズ, (9): 40.

(2013年6月29日受領, 2013年8月22日受理)

【短報】久米島産陸生ガムシ類マンゲツガムシ属の初記録

日本産陸生ガムシ (=ハバビロガムシ亜科) にマンゲツガムシ属 *Psalitrus* という属がある。本属は Hoshina & Satô (2005) に日本から初記録されたグループで、琉球からは タイワンマンゲツガムシ *P. sauteri* d'Orchymon, 1929 と ツヤマンゲツガムシ *P. masataikai* Hoshina, 2007 の2種が知られている。前者は奄美大島、沖縄本島、宮古島、西表島、与那国島、台湾から記録があり、後者は奄美大島からしか採集されていない (Hoshina & Satô, 2006; 保科・佐藤, 2006, Hoshina, 2007; 保科, 2012)。

2013年3月に筆者は沖縄県久米島にてマンゲツガムシ属2種を落ち葉ふるいにて採集したので、本稿にて報告したい。標本データは以下のとおりである。

タイワンマンゲツガムシ

10 exs., 久米島アール岳, 19. iii. 2013, H. Hoshina leg.

ツヤマンゲツガムシ

8 exs., 久米島アール岳, 19. iii. 2013, H. Hoshina leg.

琉球産マンゲツガムシ属の2種はいずれも後翅を欠く。しかし、列島内の島間での種内の形態差はほとんど見出されない。この点は同じ土壌性コウチュウ類でも島ごとに種分化を起こしているコケムシやタマキノコムシとは大きく異なる点である。

引用文献

- Hoshina, H., 2007. Description of a new species of the genus *Psalitrus* (Coleoptera, Hydrophilidae) from the Ryukyus, Japan, with a key to Japanese species. Elytra, Tokyo, 35 (1): 42–47.
- 保科英人, 2012. 与那国島からのタイワンマンゲツガムシの初記録. 月刊むし, (498): 48–29.
- Hoshina, H. & M. Satô, 2005. New record of the genus *Psalitrus* (Coleoptera, Hydrophilidae) from Japan, with description of a new species. Japanese Journal of systematic Entomology, 11 (1): 15–19.
- Hoshina, H. & M. Satô, 2006. Additional record of *Psalitrus sauteri* d'Orchymont (Coleoptera, Hydrophilidae) from Japan. Elytra, Tokyo, 34 (1): 106.
- 保科英人・佐藤正孝, 2006. ガムシ科 *Psalitrus* 属の分布に関する知見. ねじればね, (116): 13–14.

(保科英人 910–8507 福井市文京 3–9–1 福井大学教育地域科学部)